

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-45℃～ + 125℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ + 60℃ (注2)	
	電 圧	150 V AC	適合コネクタ	DF9#-*P-1V(22)	
	電 流	0.5 A		DF9#-*P-1V(32)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。	50 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 250 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機械的性能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗 : 50 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10~55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。	① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃, 湿度 90~95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗 : 50 mΩ以下 ②絶縁抵抗 : 500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -65 → 5~35 → 125 → 5~35℃ 時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15分 を 5 サイクル 試験する。	①接触抵抗 : 50 mΩ以下 ②絶縁抵抗 : 500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	半田耐熱性	【 リフロー半田付けの場合 】 《 リフロー部 》 MAX 250℃ピーク 220℃以上 60 秒 以内 《 予熱部 》 150~180℃ 90~120 秒 リフローは同条件にて2回まで可能 【 手半田 (リペア) の場合 】 半田ごてで 380℃, 3秒の条件にて半田付け を行う。但し, 端子に力を加えないこと。	外觀の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度245±5℃, 浸漬時間3±0.5秒間 のはんだ付けを行う。	はんだ浸漬面の95%以上が新しいはんだで 濡れていること。	○	—
	△				
備考 (注1) 通電による温度上昇を含みます。 (注2) 保存とは基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表し、基板搭載後の無通電状態は、使用温度範囲が適用されます。					
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用しています。					
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△	1	DIS-H-001215	AR. TAKAHASHI	TS. MIYAZAKI	06.08.02
			承認	TY. OMA	04.03.08
			検 図	TS. MIYAZAKI	04.03.08
			担 当	HK. UMEHARA	04.03.05
			製 図	MY. NAKAMOTO	04.03.05
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-160019-13	
HRS	製品規格表		製品名	DF9B-*S-1V(32)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL540	△